

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上山市	本庄地区(関根、相生、三上、皆沢、 檜下、赤山、柏木、金山)	平成24年9月11日	令和3年3月26日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	386.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	224.1ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	39.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	15.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	15.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	37.9ha
<ul style="list-style-type: none"> ・米と果樹の複合経営のほか、野菜や果実の加工品の生産・販売も行われている。 ・高齢化に伴う経営面積の縮小や、離農による不作付地が増加している。 ・農地が小さく点在しており、特に果樹は農地集約や貸借が難しい。 ・土地を貸さない高齢者が多く、農地中間管理機構を活用した集約が進まない。 ・地域の中核を担う経験豊富な農業者や先進的な若い農業者がおり、独創的な様々な農業経営で頑張っている農家が多い。 ・若い後継者がおり、新規就農を望む者も出てきている。 ・有害鳥獣被害が増加している。 	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地が小さく点在し貸借に消極的で集約が難しい状況において、どのように集約を図っていくか。 ・若い後継者や新規就農者をどのように育成していくか。

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針(必要な取組に関する方針)

<p>(1)農地の活用・集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松沢地区の団地化を中心に、成木があるなど条件の良い農地の情報を地域・行政・農地中間管理機構で共有し、担い手に提供してマッチングを図りながら、少しずつ集約を進めていく。 <p>(2)担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・行政・JA等が連携しながら、新規就農者を受け入れる体制を整備し、就農しやすい環境づくりを進めていく。 ・若い農業者や後継者と交流を図り、経験豊富な農業者の知識・経験や農業の魅力を伝え、後継者を支援・育成していく。
